

令和7年度 第5回学校運営協議会議事録（発信者ごとの要点議事録）

日時：令和8年3月7日（土）
場所：田無第一中学校 校長室
出席者：高橋 綾委員 鵜野 美代子委員 紺野 愛子委員 小野 千代乃委員 辻 康一委員 歌田 多恵委員 欠席者：鈴木 隆文委員 瀬沼 洋子委員 出席者が過半数を超えているため、本会議は成立
1. 校長挨拶 <ul style="list-style-type: none">● 今年度は大きな事件・事故なく終了予定。● 生徒の進路も概ね決定し、安心している様が多い。● 来年度に向けた準備を進めている。● 新しく着任予定の教員についても、授業・生徒理解・部活動に積極的な人材が応募しており、学校として前向きな状況。
2. 学校評価アンケート結果（副校長報告） 主な成果 <ul style="list-style-type: none">● 学習への取り組み<ul style="list-style-type: none">・生徒の約8割が「学習方法を工夫している」と回答。・教員側も授業改善を意識している。● 学校の安心感<ul style="list-style-type: none">・生徒・保護者ともに約85%が「安心して通える学校」と回答。● ボランティア活動について<ul style="list-style-type: none">・当番活動・委員会活動など、校内での役割を意欲的に行う生徒が多い。・ボランティア意識は例年より向上。● 主な課題<ul style="list-style-type: none">・保護者の評価が生徒より低い項目があり、学校の取組が十分伝わっていない可能性。・外部ボランティア参加はまだ少ない。・ライフスキルプログラムは計画的な実施が必要。● 今後の改善<ul style="list-style-type: none">・授業公開を充実させ、保護者に授業内容を理解してもらう。・ボランティア活動の体験や成果を生徒間で共有。・ライフスキル教育を年間計画に組み込み実施。
3. 委員からの主な意見 <ul style="list-style-type: none">● 学校評価・家庭との関係<ul style="list-style-type: none">・生徒と保護者の評価差は、家庭内コミュニケーションの減少も要因ではないか。・学校での出来事を家庭に伝える機会が少ない可能性。● 職場体験・ボランティア<ul style="list-style-type: none">・中学生時代の体験が将来の進路につながる事例あり。

- ・地域活動への参加は自己肯定感や社会性の向上に効果。

- ・子どもの頃からボランティア経験を積むことが重要。

- 授業公開について

- ・保護者が廊下で話してしまうケースがあるため、授業見学を促す工夫が必要。

- ・教室が狭く入りにくい場合がある。

- ・授業内容のバリエーション（体育・音楽など）も見られると良い。

4. 来年度に向けた学校方針

- 重点テーマ「耐える力・折れない心」（粘り強く課題に向き合う力の育成）

- 目指す生徒像

- ・自己理解ができる

- ・粘り強く最後まで取り組める

- ・適切なコミュニケーションができる

- ・困難を乗り越える力を持つ

- ・地域・社会と関わりながら成長する

- 主な取組

授業改善

- ・教員同士の授業研究

- ・生徒が主体的に考える授業づくり

- ライフスキル教育の充実

- ・計画的なプログラム実施

- 外部連携の強化

- ・地域・保護者との協働

5. その他

- ・来年度の会議日程について案内。

- ・協議会委員の継続協力の依頼。

- ・卒業に伴い委員を退任する方へ感謝。